

GLOBAL VOYAGE

[グローバル ヴォヤージュ]

PEACE BOAT

2024

Winter

ニューヨークに憧れて



第二特集 なんでも揃う船内ショップは船旅のパートナー

巻末:2024年カレンダー

ニューヨークを楽しもう



船が大西洋を越え、ニューヨーク港に入っていく。高層ビル群を遥かに望みながら、リバティ島に立つ自由の女神像の姿がぐんぐん大きくなって迫ってくる。この贅沢な出迎えを受けられるのは船旅を選んだ人だけの特権ともいえる。ニューヨークの街を前に、誰もが胸の高鳴りを感じることだろう。「どんなものに興味をもっていても、ニューヨークなら満たしてくれる」とさえいわれるこの街は、アート、音楽、ファッション、エンターテイメント、グルメはじめすべてが先進性、多様性をもって迎えてくれる。さあ、ニューヨークを楽しもう!



NEW YORK CITY Manhattan & Brooklyn

GLOBAL VOYAGE
2024 Winter

CONTENTS

特集

ニューヨークを楽しもう P3

世界で最も刺激的な街で
感性に響く体験を P4

すべてが期待と想像を超える街 P6

ピースボートとSDGs
国連とともにさまざまなイベントを開催 P8

ニューヨークのおすすめスポット P9

第二特集

何でも揃う船内ショップは
船旅のパートナー P10

PBV2023年活動報告 P12

2024年カレンダー P14

表紙の写真
リバティ島に立つ世界遺産にも
登録されている自由の女神は
ニューヨークそしてアメリカの象徴。



摩天楼を抜け自由の女神に会いにいく

[ロウアー・マンハッタンエリア] Lower Manhattan Area



4:先住民族の生活などを知ることができる「国立アメリカンイディーン博物館」。5:ニューヨークで最も古い「トリニティ教会」。6:ミラーガラスで覆われた「ワン・ワールド・トレード・センター」にはパノラマビューを楽しめる展望台がある。

ロウアー・マンハッタンはニューヨークで最も歴史ある街でありウォール街、ニューヨーク証券取引所、銀行が建ち並ぶ世界経済の中心地としても有名だ。また全米一の高さを誇る「ワン・ワールド・トレード・センター」、自由の女神を見渡せる「バッテリー・パーク」、レトロな雰囲気と美しい眺めが楽しめる「サウス・ストリート・シーポート」をはじめ観光スポットも多い。ダウンタウンの方へ向かえば人気の高い「グリニッジビレッジ」、鉄道が走っていた線路に沿つてつくられた公園「ハイライン」、日本とは少し雰囲気が違う「チャイナタウン」、感度のよいセレクトショップや個性的な店が並ぶ「ソーホー」など、立ち寄つてみたいスポットが目白押しだ。

レトロな建物が残る風情ある街

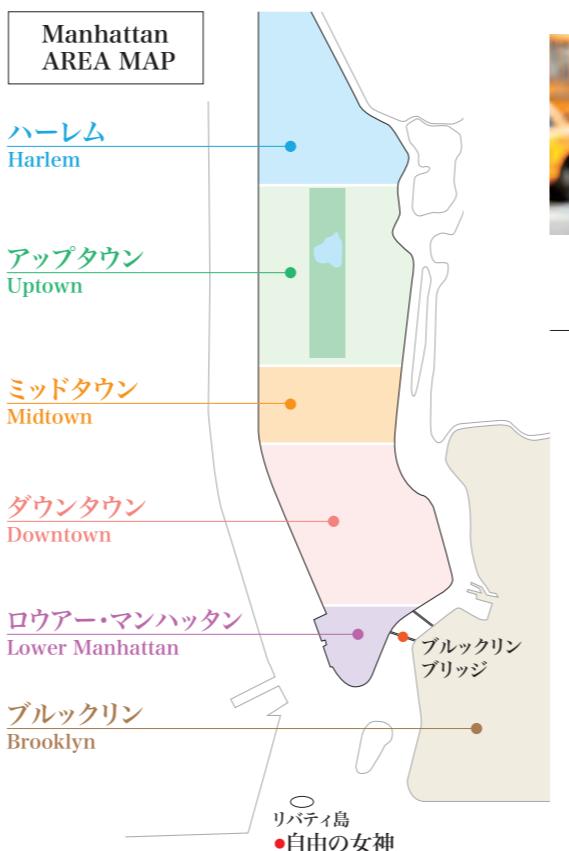
[ダウンタウンエリア] Downtown Area



7:グリニッジビレッジの中心にあるニューヨーカー憩いの場「ワシントンスクエアパーク」。8:廃線跡が生まれ変わった空中庭園「ハイライン」。



ニューヨークの象徴、自由の女神像は人気ナンバーワンの観光スポット。



1:ニューヨークの「顔」ともいえるイエローキャブ。2:至る所で販売されているベーグルは小腹が空いたときに食べたい。3:コーヒーカップを手に歩いている人も多い。

世界で最も刺激的な街で感性に響く体験を

何度も訪れても必ず新しい発見があるといわれるニューヨーク。多様性と刺激に満ちた街のエネルギーを感じながら、好奇心や探求心をもってニューヨークの文化にふれよう。一つひとつの出会いや体験が、感性を大きく動かしてくれることだろう。

ニューヨークの中心、マンハッタンはハドソン川とイースト川に挟まれた細長い島で、面積は約59km²。東京の山手線内にすっぽりと入る広さで地下鉄、バス、タクシーを利用しての移動も難なくできる。しかし、マンハッタンで観光するとなると、魅力的なスポットは限りないほどある。だから何気なく街を歩くのではなく、たとえばタイムズスクエアやエンパイアステートビル、セントラルパークなどの名所巡り、メトロポリタン美術館をはじめとする美術館やギャラリーを巡るアート鑑賞、といったようにテーマを決めた計画的な観光もおすすめ。寸暇を惜しんで満喫したい。



ニューヨーク市はアメリカ合衆国最大の都市。マンハッタン、ブロンクス、クイーンズ、ブルックリンそしてスタテン島の5区からなり、世界の政治、経済、文化に多大な影響力をもつ。ニューヨークに降り立てば、映画やテレビで見た、イメージ通りの景色とともに街から発散される熱気を感じることだろう。立っているだけで、ここがあらゆる分野で世界の最先端を生み出し続ける創造の街であることがひしひしと伝わってくる。

ニューヨーク市はアメリカ合衆国最

すべてが期待と

想像を超える街



イタリアから多くの移民を受け入れた
ニューヨークにはピザ文化が定着。

セントラルパークを中心にゆったり観光を楽しむ

[アップタウンエリア] Uptown Area



5:国内最大300万点以上のコレクションを誇る世界三大美術館の一つ「メトロポリタン美術館」。6:セザンヌ、ピカソ、モネなどの世界的傑作を鑑賞できる「グッゲンハイム美術館」。



手つかずの自然を残している都市公園「セントラルパーク」。映画のロケ地としても人気。

マンハッタンの中心ともいえるミッドタウンは、ニューヨークの有名なランドマークや観光名所が多いエリア。世界一賑やかな交差点、タイムズスクエアはブロードウェイの巨大な看板やきらびやかな広告のネオンが24時間ついていて、国際色豊かな観光客が行き交っている。6山アベニューはオフィスビルが並ぶビジネス街。巨大複合施設ロックフェラーセンターもこのエリアにある。世界的に有名なショッピングスポット5番街にも立ち寄りたい。アートに関心があるならニューヨーク近代美術館は必見だ。

グランドセントラル駅は複数の路線の乗り換え駅であり交通の要だが、建物や駅の構内は観光スポットとして見応えがある。駅前にはニューヨークのシンボルの一つ、クライスラービルが建っている。

アップタウンにはマンハッタンのオアシスである都市公園セントラルパークがある。アッパーイーストサイドは高級住宅地として知られ、メトロポリタンアート鑑賞スポットが多い。アッパー

住宅地として知られ、メトロポリタン美術館やグッゲンハイム美術館などアート鑑賞スポットが多い。アッパー

エストサイドにはジョン・レノンが住んでいたダコタハウスをはじめ趣のある建造物が街に落ち着きをもたらしている。またハドソン川沿いの景観も美しい。

ハーレムはセントラルパークの真上に位置する、マンハッタンにおけるアフリカ系アメリカ人文化の中心地。全米屈指の

劇場アポロシアターには毎年130万人以上の観光客が訪れている。

マンハッタンの南にあるのがブルックリン地区で、3つの橋と1つのトンネルでつながっている。ブルックリン・ブリッジとダンボが観光スポットとして知られているほか、ウイリアムズバーグというニューヨーカーはもとより観光客にも人気のエリアがある。特に週末はイベントも開催され、お洒落なカフェやショップが並ぶ街なかを、散策するだけでも楽しめる。

歴史と新しさを共存させながら魅力を放つ

[ブルックリンエリア] Brooklyn Area



9:本場のアメリカンハンバーガーもぜひ楽しみたい。10:ガラスの四角い建物に収まっている年代ものの回転木馬「ジェーンズ・カルーセル」。11:ドミニュガーの砂糖工場の跡地にできた美しい公園「ドミニパーク」。



1883年に開通した世界初の鋼鉄フイヤーを使用した吊り橋「ブルックリン・ブリッジ」。

再開発で変化を続けるコミュニティ

[ハーレムエリア] Harlem Area



7:ルイ・アームストロングや比利・ホリディはじめ多くのスターが出演した「アポロシアター」。8:歴史を感じさせる街並み。

1:ニューヨークの超高層ビルの中で美しさが際立つ「クライスラービル」。アール・デコ建築の古典的代表であり、1976年に国定歴史建造物に指定された。2:記念日ごとにライトアップの色が変わる「エンパイア・ステート・ビル」。



3:階段と踊り場だけで建設された「ベッセル」は新しい名所。4:アウトドアのスカイデッキ「エッジ」は最新の屋外展望台。



ニューヨークの魅力が満載

[ミッドタウンエリア] Midtown Area



「セルфиー(自撮り)」を撮る場所として人気のタイムズスクエア。

ピースボートスタッフのエミリーが choice! /

ニューヨークのおすすめスポット

ピースボートは2006年から国連本部の向かいに位置する場所にピースボートUSを構えている。そのスタッフとして働いているエミリー・マグローンがニューヨークに寄港した際のおすすめスポットを紹介してくれた。



エミリー・マグローン（ニューヨーク在住）

近郊型リゾート地、コニーアイランド

こんにちは、ピースボートUSのエミリー・マグローンです。私がまずお勧めしたいのはコニーアイランドです。ここは慌ただしく蒸し暑い都会において、理想的な夏の休息を提供してくれるスポットです。3マイル近い砂浜があり、晴れた空と打ち寄せる波の雰囲気を楽しみながらリラックスできます。コニーアイランドはオフシーズンに訪れても楽しい場所です。歴史的なリーガルマン・ボードウォークを散歩したりニューヨーク水族館を訪ねたり、また野球好きならメットツ傘下のマイナーチームの試合を観ることができる野球場、メイモナーズ・パークをチェックするのもいいかも。私たちには毎年、国連の「世界海洋デー」のためにビーチへのサイクリングと清掃活動を企画して、あらゆる年齢層の方たちと一緒に取り組んでいます。



戦争の反省から生まれた、国連の本部

ニューヨークマンハッタン東部にある国連本部。国連の構想は第二次世界大戦中に生まれました。「国際連合」という名前は、1942年に26カ国の代表が枢軸国に対してともに戦い続けることを誓い合ったときに生まれました。戦争を終結させるために協力した指導者たちは、戦争を



阻止するためのメカニズムの必要性を強く感じていたのですね。すべての国と国民がグローバルなパートナーシップを築き、国際的な協力を実現する場は、館内見学も可能です(有料)。

美しく、大きな公園、プロスペクトパーク

ニューヨークといえばセントラルパークが有名ですが、ブルックリンにあるプロスペクトパークもお勧めですよ。公園全体のデザインが素晴らしいことで知られ、四季折々の自然が楽しめ、大きな池があることが特徴です。園内にはさまざまなトレーリングがあり、サイクリングを楽しんでいる人も多いです。ロケーションとしてはニューヨークでも人気の住宅街であるパークスロープ、プロスペクト・ハイツ、ウィンザー・テラスなどの間に位置していて、ブルックリン美術館、グランド・アーミープラザ、ブルックリン植物園に隣接しています。



ウィリアムズバーグの真ん中にある、お勧めグルメ

さて、最後にグルメについて一つ情報を。パティオのあるシックな空間で、ラテン・アメリカ&イタリアン・テイストをミックスしたウルグアイ料理のレストラン、私はこのレストランが大好きでよく行きます。「DJ付きプランチ」のようなイベントや友人との誕生日パーティを開くこともあります。チーズ・エンパナーダが最高に美味しい、夜もとてもロマンチックで居心地がいい!場所はウィリアムズバーグの真ん中で、とてもヒップなエリアです。



ピースボートは2018年には国連本部での「持続可能な開発に関するハイレベルな政治フォーラム」へ参加し、ピースボート洋上で「パートナー・エキスポ」も開催した。2021年には国連の定める「世界海洋デー」における実行委員会の一つでコーディネーターを務め、海洋保護の啓発などさまざまなプログラムを実施するなど積極的に取り組みを推進してきた。

そして昨年9月30日、コロナ禍の3年を経て再開されたピースボートトルーズでは、ニューヨークにおいてイベントを開催。

SDGsサミットを含む国連総会ハイレベルウェークの直後のタイミングで、平和、核軍縮、SDGs達成、そして気候変動と海洋問題対策の機運を高めるべく、ともに活動するパートナーたちが一堂に会した。ニューヨークからは500人を超えるゲストを本船に迎え入れた。



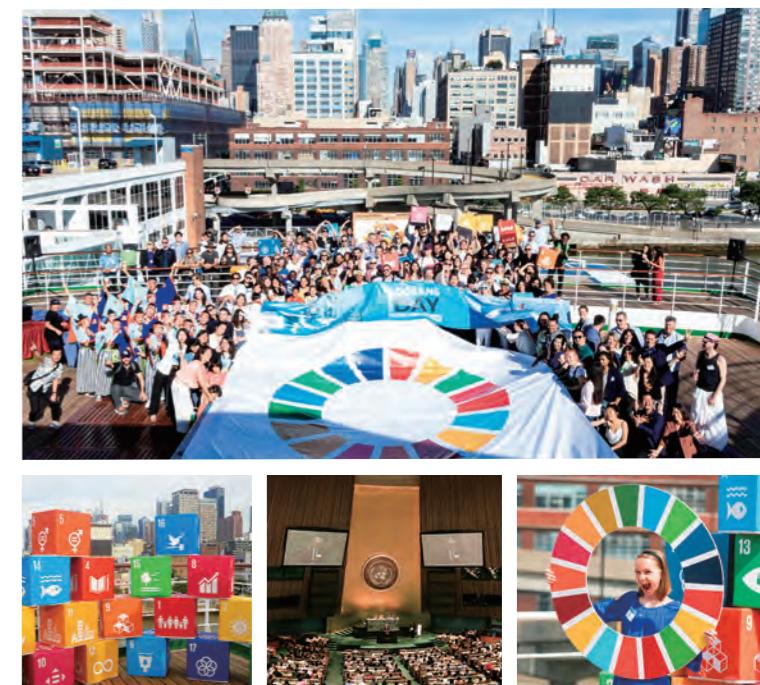
メリッサ・フレミング国連事務次官の挨拶。

イベントの冒頭でメリッサ・フレミング国連事務次長(グローバル・コミュニケーション担当)はSDGsは健全な地球上で平和・尊厳・平等性のある世界に住むことを可能にする17の目標であり、和平の追求と密接に結びついている、と強いメッセージを届けた。

続いて若者、外交、ビジネス、科学者の各分野の代表による2つのパネルディスカッションを行い、ブルーエコノミー、海洋イノベーション、SDGsのためのパートナーシップについて具体的な取り組みやビジョンが紹介された。ハイライトは

ピースボートとSDGs 国連とともにさまざまなイベントを開催

ピースボートは国連との特別協議資格をもつNGOとしてSDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指すさまざまなプロジェクトに取り組んでいる。ピースボートクルーズの船内はもちろん、寄港地でもSDGsの重要性をアピール。特にニューヨーク寄港の際には国連とイベントを開催してきた。今号ではコロナ禍後、初のニューヨーク寄港時に開催されたイベントについて紹介する。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

笹川平和財團の海洋政策研究所の手リーダーからの報告。世界各国から7人の若者がグアテマラからピースボートに乗船し、パナマ、ジャマイカ、マイアミ、ニューヨークまで海洋保護区や生態系の回復、ブルーエコノミーなどに焦点を当て体験学習や意見交換を通じた成果を発表した。またピースボートの40周年を記念し能や太鼓、酒樽の鏡開きなども披露されたほか、盛りだくさんなプログラムで賑わった。フレミング事務次長が「私たちは総力を挙げて取り組む必要がある」と述べた通り、パートナーシップの重要性と可能性を感じる貴重な機会にもなった。



SDGsに対する重要性を再認識することができるイベントとなった。



何でも揃う船内ショップは 船旅のパートナー

忘れ物をしても
安心です!

Latitudes Boutique

「手ぶらで乗船しても楽しめる世界一周」をコンセプトに、さまざまなアイテムを取り揃えている船内のショップは、長期の船旅には欠かせない便利スポットだ。商品数は、なんと1500点以上。日用品はもちろん衣服、食品、お菓子、ドリンク全般そしてモンベルやサンリオと提携した旅行用品やピースポートオリジナルグッズも販売している。お土産アイテムも多く、品揃えとボリュームがいちだんとアップした。



販売スタッフ

 旅に便利なものや、船上生活に かかせないものまでご用意



 サンリオとのコラボグッズもご用意しています



 ピースボートオリジナルグッズも乗船記念として人気です



PBV 2023年活動報告

ピースボート災害支援センター(PBV)は、2023年も国内外においてさまざまな災害救援・人道支援活動を行ってきた。現在も継続中の支援ならびに、年末からスタートした新しいプロジェクトについて報告する。

「秋田水害支援中間報告」中長期的な支援を継続中

7月14日から16日にかけて東北地方で梅雨前線が停滞し東北北部で大雨被害が発生した。秋田県では記録的な大雨となり各地で河川が氾濫。家屋の浸水や土砂崩れが起き、特に秋田市内は内水浸水により市中心部が広く冠水した。PBVは7月22日にはスタッフを派遣し、秋田市社会福祉協議会や、あきた結いネットなどと協力して早く家屋対応、生活再建の相談、物資配布などを実施した。8月には2ヵ所目の支援拠点を開設し、サポート体制を強化。その後、キッチンカーによるサロン開設などを通して地域の方々を支援してきた。

10月には秋田市災害ボランティアセンターは閉所したものの、秋田市社会福祉協議会の依頼でコミュニティ支援や家屋対応などの支援を継続。



人手、資材不足で未だ修繕されていない家屋もある。秋田市で本格的な冬が到来していくなかで、今後、寒さ対策も含めた支援の継続が必要で、中長期的な支援を実施していく。

8月に発生したハワイ・マウイ島での大規模な火災で被害にあつた人々への支援のため、PBVはすぐにスタッフを現地に派遣して食事支援を行った。その後、第二弾として、マウイ島で活動するNGO Japanese Cultural Society of Maui (JCSM)を通して、甚大な被害を受けたラハイナ地区の支援を実施。これまでPBVへのご寄付やYahoo!ネット募金、Benefitなどを通じて2700名以上の団体、個人の方々からご寄付いただいた。また航海中では船内募金にもご協力いただいた。

10月に、JCSMのメンバーをPBVの事務所に招き、皆さまからお預かりしたご寄付の贈呈式を行った。ラハイナ地区では家を失つた人々が現在もホテルや知人宅などで避難生活を送っているので、支援金は、コミュニティの再生や被災した人々の生活支援のため活用していく。



今回の火災では住宅のほかコミュニティスペースとして大切にされてきた寺院や教会、小学校そして生活に必要な自家用車なども焼失しており、物心両面での支援がまだ必要である。

「ハワイ・マウイ島山火事支援」

支援金の贈呈式を実施



新プロジェクト「FoodBour(フーバー)」発足 「いつも(平常時)」と「もしも(災害時)」も フェーズフリーに支援



新プロジェクトFoodBourが誕生した理由は2つある。一つは、ひとり親家庭をはじめ世帯の所得が低く、適切な食事をとれない子どもが多くいる。一方、フードロスは年間約520トンにのぼり、無駄な廃棄が社会問題化している。これをひとり親家庭への支援に組み合わせるといった有効活用が必要だ。もう一つは、気候変動や気温上昇により洪水や竜巻、台風などの風水害が50年前の5倍に増加し被害が大きくなっている。そうした際の避難所において被災者の食と栄養の偏りが健康に大きな影響を及ぼしており、適切な食事支援が必要である。

FoodBourは、フードトラックを活用し「平常時」にはひとり親家庭への食事や生活用品の支援を、「災害時」には被災された方への温かい食事を提供する「移動型フードバンクプロジェクト」。Food(食事)とFoodBour(港)を組み合わせて名付けられ、「いつも(平常時)」と「もしも(災害時)」を地続きで考えたフェーズフリーな課題解決の取り組みとして展開していく。

佐賀県・大町町で FoodBour(フーバー)開始! FoodBour(フーバー)開始!

ふるさと納税で FoodBourを支援

「ふるさと納税での寄付」によって、FoodBourプロジェクトを支援いただける方を募集中。平常時は佐賀県内のひとり親世帯(100~200世帯)へ食事や生活用品を提供し、国内における災害発生の際は被災地にて温かい食事(最大2000食/日)を提供する。

<https://pbv.or.jp/furusato/>

災害時に助け合うコミュニティ 災害につよい社会をみんなでつくる 災害支援サポーター

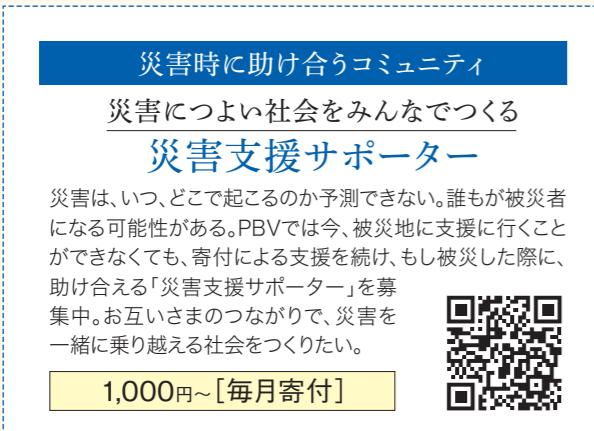
災害は、いつ、どこで起こるのか予測できない。誰もが被災者になる可能性がある。PBVでは今、被災地に支援に行くことができなくても、寄付による支援を続け、もし被災した際に、助け合える「災害支援サポーター」を募集中。お互いさまのつながりで、災害と一緒に乗り越える社会をつくりたい。

1,000円~[毎月寄付]



1,000円~[毎月寄付]

PEACE BOAT
ACTIVITIES
•ピースボート活動•





1							2						
January 2024							February 2024						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29		
3							4						
March 2024							April 2024						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

PEACE BOAT 季節の出来事

1月 南半球で迎える正月は「暖かい正月」になる。カウントダウンや鏡開きもいつもよりハイテンション。新成人の門出を祝う「船内成人式」も恒例行事。



2月 南航路では日本でアジア圏で祝う2月の旧正月と2回の正月を楽しめる。また2月にリオのサンバカー二パリに合わせて航路もある。



3月 南航路の船旅が帰卒業シーズンでさまざまな巣立ちがある。クルーズ参加者も世界一周で得た体験を胸に新たなスタートをきる。



4月 出会いの春。クルーズは春航路に出航。地中海や北欧、カリブ海、アラスカなど人気スポットを巡りながら、一生忘れられない出会いを体験する。



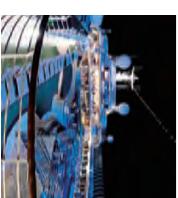
5月 小さな子どもを連れる家族はこれまで200組近く。心から感動できる体験は、生涯続く子どもへのアレゼントであり家族の宝物。



6月 日本が梅雨でジメ爽やかな初夏の北欧を訪れる。雄大なフィヨルド幻想的な白夜、森と湖が美しい北欧は見どころ満載。



7月 恒例イベント「星空観望会」は上階デッキの照明を消して実施される。漆黒の闇のなかで、ため息が出るほど美しく煌めく星たちを観賞できる。



8月 夏本番の船内では、青い空と太陽の下、心も体もリフレッシュ。プールサイド横にはバーも併設されており、まさに夏の休暇を満喫。



PEACE BOAT 季節の出来事

July 2024							August 2024						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6		4	5	6	7	8	9	10
7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17
14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31
28	29	30	31				23/30	24	25	26	27	28	29





September 2024							October 2024						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
							1	2	3	4	5	6	7
							8	9	10	11	12	13	14
							15	16	17	18	19	20	21
							22	23	24	25	26	27	28
							29	30					
November 2024							December 2024						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
							1	2	3	4	5	6	7
							8	9	10	11	12	13	14
							15	16	17	18	19	20	21
							22	23	24	25	26	27	28
							29	30	31				

PEACE BOAT 季節の出来事

9月 極北のオーロラ
ルーズは屈指の人
気。船内企画で盛り上がり、
出現の時を待つ。漆黒の夜
空に舞う光のかーテンとの遭遇が大きな感動をもたらす。



10月 船内にはヨガ、ノル
ディックウォーキング
、サルサダンスなどをはじ
め健康プログラムがたくさん。
毎日参加してクルーズで
痩せた!という人も。



11月 読書の秋、食欲の
秋、芸術の秋。船内で
すべてを満たすことができる。
長編小説の読破に挑戦し
たり楽器の練習や水彩画などに取り組むことができる。



12月 待ちに待ったクリ
スマスパーティー!
デッキのツリー、点灯式、クリ
スマスライブ、プレゼント交
換会など1日中、クリスマス
一色で盛り上がる。



船上百景

[初日の出]



船上から望む、水平線から昇る初日の出の輝きは感動もの。



船上から望む、水平線から昇る初日の出の輝きは感動もの。



船上から望む、水平線から昇る初日の出の輝きは感動もの。

船上から見る初日の出 美しさはざつと胸に刻まれる

お正月にぜひ参加したいイベントは初日の出。大晦日に参加者たちによる紅白歌合戦やカウントダウンパーティーで盛り上がり、疲れも何のその。日の出予定時刻が近づいてくると、うす暗いデッキに参加者が次々と集まり、その瞬間を待つ。水平線際がじわじわと赤味を帯びてくると「気に期待が高まり、ついに辺りをオレンジ色に染めながらまん丸の太陽が姿を見せる。「おーー」「キレイだ」と自然と声が上がる。視線をそらさざるもののが何一つない水平線から昇ってくる初日の出は格別。これぞ船旅の醍醐味だ。「今年一年、素晴らしい年になりますように」と幸せを願う。その美しさと神々しさを胸に刻むため、しばらくは静かに日の出に照らされる空と海を見つめたい。そして、初日の出を拝んだあとは、鏡開きで新年に乾杯！

A・R・E(アレ)—— 2023年の流行語大賞ですが、個人的には同賞にノミネートされていた「憧れるのをやめましょう」という大谷選手の言葉が印象に残りました。米国で行われたWBCの決勝といえば、野球をするものにとって憧れの地であり夢の舞台だったと思います。そこで「憧れるのではなく今自分にできる」とを精一杯やる」という気持ちに感心させられました。

「憧れ」や「夢」といえば、世界一周は今も昔も人々の夢の旅行ではないでしょうか。しかしコロナ禍では世界一周はもちろん、国内旅行にも出かけづらい日々が続きました。そもそも人間という生き物は、「知らないところに出かけてみたい」と定期的に旅がしたくなるDNAを持ち合わせているのかもしれません。昨年は、ピースボートクルーズも3年ぶりの船出となり、「憧れを憧れのまま終わらせたくない」と夢の実現に踏み出す多くの人々が世界に旅立ちました。

大谷選手は他にもこんな名言を残しています。「無理だと思わない」とがいちば大事、無理だと思つたら終わりです。世界一周も無理だと思つて諦めてしまつたらそこで終了してしまいます。歩一步と夢の実現に向けて歩を進める方々の隣で私たちは精一杯の伴走を続けます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(M.H)

